

Today's News

強磁場若手道場2009 熊本で開催

9月24日熊本大学において強磁場若手道場2009が開催されました。この道場は、関連分野の若手の交流の場として開催しているもので、今回は、特定領域で開発された強磁場下での幾つかの実験について、参加者が自分の研究で利用するときどのように考えればよいかという視点で4名の講師の方々に紹介をしていただきました。松田氏は強磁場X線を用いた実験として、回折、共鳴回折、吸収、円2色性の実験の特徴と応用例に関して紹介しました。鳴海氏は、磁化測定の原理や異なる方法の長所・短所を紹介し、また自分で磁化測定装置を作るときのポイントを紹介しました。徳永氏はパルス磁場中の輸送現象の特徴について紹介したうえで、磁気抵抗測定の実際や注意点、限界などに関して幅広く紹介しました。工藤氏はハイブリッド磁石を用いた輸送現象の測定を実際の実験例や使い方も含めて丁寧に解説されました。引き続き行われた研究発表では18名の若手から発表の紹介があり、相互の交流に有益な道場となりました。最後に今回会場の設営などでお世話になった横井研究室の方々にお礼を述べて閉会となりました。特定としては最後の道場の道場になりますが、分野の活性化に有用なことから今後なんらかの形で継続して行くことの重要性を感じた若手道場2009でした。

・ Announce

2009年12月7日から第6回強磁場スピン科学国際シンポジウムを開催いたします。

会議への申込・アブストラクトの締め切りは**2009年9月30日（水）**となっています。

シンポジウムホームページよりRegistration formをダウンロードの上、ご記入いただき、アブストラクトとパワーポイントの図と共にSPIN100メールアドレス宛にお申し込み下さい。

シンポジウムホームページ：<http://spin100.imr.tohoku.ac.jp/6thSymp/6thSymp.html>

第6回強磁場スピン科学国際シンポジウム

6th International Symposium on High Magnetic Field Spin Science in 100T

日時：2009年12月7日（月）～12月9日（水）

場所：東北大学片平さくらホール及び金属材料研究所内

December 7 - 9, 2009, Tohoku University, Sendai, Japan

強磁場スピン科学ホームページ：<http://spin100.imr.tohoku.ac.jp/>